

## 今月の御教え

これまでは、忌み汚れを言う神ばかり。忌み汚れを言っているのは、人は助からない。天地金乃神は、忌み汚れを言わない神である。ここをよく悟ることが大切である。

……「天地は語る」第十七条……

## 解説

「天地金乃神様が、忌み汚れを言わないのは何故なのか、その意義を悟れよ。」との御教えであります。

日本では古来、家族に死者が出たりすると、家族もその汚れを受け、又、産後や月経中の女性も汚れているからと、それが晴れるまでは、神域に立ち入れない習慣がありました。それに対して教祖金光大神様は「死は、生と共に尊厳なことであり、産も月経も人類が続いてゆく為の大事な事である。それを汚れているなどと言え、人が助からないことになる。」と、忌み汚れが、全くいわれのない無為な習俗である事を看破されたのであります。

なお、今月はいよいよ、西条教会二代教会長三十年、夫人十五年の式年祭が執り行われます。ここから、私達は二代教会長御夫妻に喜んで頂けるよう、共々に信心の稽古に励んでいきましよう。